

目が見えない・見えにくい人には、

どういうおてつだい・声かけをしてあげればいいのかなあ？

かるがもの会 ホームページ作成班

ここには、

「目が見えない人(全盲・ぜんもう＝もののかたちや色などが
ぜんぜん見えない人のこと)

／

見えにくい人(弱視・じゃくし＝メガネをかけても、まん中だけとか、
まわりだけ見るとか、ところどころ見えないところがある人のこと)

＝ 視覚障害者(しかくしょうがいしゃ)」の人たちが、

『こんな風におてつだい・声かけしてもらえるとうれしいなあ』

っていうことを、かるがもの会のみんなとお話して

「目が見えない・見えにくい人たちはこんなことにこまってるんだなあ」ってことを
みんなにも知ってほしくてお手紙を書きました。

「自分たちの近くにはいろんな人がすんでいるんだなあ」ってことを
わかってくれるとうれしいなあ。

※ ※ 弱視(じゃくし)の人があぶないりゆう ※ ※

少しでも見えないところがあるとね、うごいているものが見えなかったり、
自分がうごくと思えなくなったり、字がわからなかったり、
あるものがないと思ひこんだりして…、少しばかり見えてるから、
見えない人よりもあぶないときがあるんだよ。

※ ※ おねがい(1) ※ ※

目が見えない・見えにくい人たちに「あぶない！！」ってさげばれても、
「だれに言ってるんだろう？」ってわからないから、声かけするときには
かたやせなか、うでなど、その人を「トントン」たたいてから
「何かおてつだいすることはありますか？」「どこに行くんですか？」

「そっちはだんさがあるからあぶないですよ！」って声をかけてもらえると、自分に話しかけられてるんだなということがわかるよ。
だから、こまってそうな白いつえをもった人とか盲導犬(もうどうけん・見えない人のおてつだいをする犬)をつれてる人を見つけたら、
少しだけゆう気を出して声をかけてもらえると、とってもうれしいなあ。
* 声をかけるときにしちやいけないこと *
何も言わず、いきなりようふくやうでをつかんでひっぱること。
(みんなも一度やってもらえばわかると思うけど、とってもこわいことだしあぶないからぜったいにしないでね！)

※ ※ おねがい(2) ※ ※

ここに書いてあることを見えない・見えにくい人たちの中にも知らない人がいるから、
そういう人がいたら教えてあげてくださいね？

● おてつだい・声かけのしかた

◎ まわりにどんなものがあるかを教えてあげる

・かいだんがはじまる場所(おわるところ)

「もうすぐ上り(下り)かいだんがはじまりますよ！」

・入り口やドア、エレベーターのボタンの場所など

「ここが入り口です」と、その場所までつれてってもらえるとうれしいなあ。

・お店の人やえきの人がいる場所がわからない時があります。

そういうときには「お店の人呼んできますか？」

それともお店の人がいる場所までいっしょに行きますか？」って

きいてくれるとうれしいなあ。

・お店の名前やおいてあるものなど

「ここは〇〇びょういんの前だよ？」

「おうだん歩道があるよ」「〇〇番(行き)のバスが来たよ」

「ここはお花屋さん(ケーキ屋さん)だよ？」

(みんなが目をつぶって「こういうこと教えてほしいなあ」って思うこと)

目が見えない・見えにくい人は

「クロックポジション」といって、

「3時 = 右」「12時 = 上(または「おく」)」というように

“時計の数字の場しょ”を頭に思いうかべながらお話してくれると、
「ここにはこういうもの(お店)があるんだな！」
ってわかるんだよ♪

【クロックポジションってなあに？】

クロックポジションについてくわしくは下のページを見てね♪

視覚障害者をどうサポートする？ | 全国ユニバーサルサービス連絡協議会

<http://universalservice.jp/howtoud/sikaku/>

◎ いどうするとき、いっしょに歩くときのおてつだい・声かけ

・ 見えない人・見えにくい人といっしょに歩くとき：

みんなのかたやうでをもたせてくれるかな？

そうしてもらえると、とっても歩きやすいんだよ。

「ぼく(わたし)のかたをもってください」

・ イスやテーブルなどにつれて行くとき：

見えない人・見えにくい人の手をせもたれやテーブルにさわらせてくれれば、
何があるのかがわかるから、一人でもすわることができるよ。

「(手をもって)ここにイスがあるよ」

・ トイレへつれて行くとき：

見えない・見えにくい人にトイレの中を教えてあげるときは、

さいしょに、和式(わしき＝またいでしゃがむタイプ)か

洋式(ようしき＝みんなのおうちにあるようなタイプ)かを教えてね。

つぎに、すわるどころやトイレットペーパー、ながすボタン(またはレバーなど)
の場しょを手でさわらせて教えてね。

せいべつのちがう人(見えない人が女の人で、きみが男の子だったり、

見えない人が男の人で、きみが女の子)で、きみが入れないときは、

たもくてきトイレ(赤ちゃんのおむつがえができたり、

車イスの人がつかえる広いトイレ)をつかうか、

見えない人と同じせいべつの人におねがいしてね。

「(手をもって)ここにすわるどころ、こっちにトイレットペーパー。

ながすときはこのボタン(レバー)をおしてね」

・ 道をわたろうとしているとき：

いつわたれるかがわからないから、車の音がきこえるか？きこえないか？でわたれるかどうかをきめているんだけど、そういうときに「今、わたれるよ」「今はわたれませんか、わたれるときは教えますね」って声かけしてもらえると、とてもうれしいし、あんしんしてわたることができるよ★

◎ 盲導犬(もうどうけん)をつれてる人への声かけは、上に書いてるのと同じなんだけれど、かたやうで「トントン」じゃなくても「犬をつれてる人！」でもわかるよ。

■ 盲導犬(もうどうけん)といっしょに歩いている人に『しちやいけないこと』は、

1. 『ぜったいに犬をさわらない！』
2. 『犬に声をかけない！』
3. 『犬に食べもの・のみものをあげない！』
4. 『いっしょに歩くときは、犬のとなりじゃなくて、見えない人のとなりを歩く』

この4つのことをまもってくださいね。

どうしてかというと・・・

みんなもそうだと思うんだけど、

知らない人からいきなり声をかけられたらびっくりするでしょ？

それと同じで、犬もいっしょうけんめいおしごとしてるときに

とつぜん声をかけられたりすると、びっくりしちやって

おしごとができなくなってしまって、犬をつれてる人がけがしちやったり、

行き先をまちがえたりしちゃうから、かならずまもってね！

あと、何も言わずにいきなり犬をさわる人がいるけど、

これもあぶないからぜったいにしないでね！

ほかにもいろんなおてつだいがあるんだけど、いっぱい書いちゃうと

おぼえるのがたいへんだから、「ほかにはどんなことがあるのかなあ？」って

思ったきみは、パパやママ、お兄ちゃんやお姉ちゃんたちといっしょに

つぎのページを見てね♪

視覚に障害がある人のサポート - 神奈川県ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5075/p15105.html>

下のページには、バリアフリーのひょうごや目が見えない人・見えにくい人への
おてつただけじゃなくて、耳がきこえない人・きこえにくい人、
うでや足がうごかない人・うごかしにくい人、
内部障害(ないぶしょうがい)と言って体の中にみんなにはついてない
きかいやきぐをつけてる人たちへのおてつだいのしかたなんかも書いてあるから、
パパやママたちと見てみてね。

今、街かどで ～身体の不自由な人たちとのふれあい～

?- 神奈川県ホームページ

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5075/>

↓のYouTubeでは、

補助犬(ほじょけん)(盲導犬(もうどうけん・目が見えない人をたすける犬)、
聴導犬(ちょうどうけん・耳がきこえない人をたすける犬)、
介助犬(かいじょけん・手足をうごかしにくい人をたすける犬)たちの
しごとのようすや、それぞれの障害者(しょうがいしゃ・見えない人／きこえない人
／手足がうごかしにくい人たちのこと)がこまることを
どうがでしようかいしているから見てね♪

NPO 法人 日本補助犬情報センター

「補助犬ができること、あなたにできること」

<https://www.youtube.com/watch?v=lamV4GTjVNk&feature=youtu.be>